

令和3年度に向けて

校長 佐藤 勝志

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校で年度が始まり、短縮した夏休み、多くの行事や取組の制限や中止、延期、内容の変更を余儀なくされました。また「新しい生活様式」にもとづく学校生活で、今までの当たり前から大きく変わることがたくさんありましたが、このような状況の中でも、みんなが、すべきことをしっかりとできた1年間ではなかったでしょうか。

3月2日に3年生が卒業し、しばらくは1, 2年生だけの学校生活でしたが、2週間後には新入生を迎え、新たな三条市立第二中学校がスタートします。

【先輩の姿】

1, 2年生はそれぞれ進級して先輩になります。上級生として、第二中学校を背負い、リードする覚悟はできていますか？3学期の始業式で、3学期は新年度に向けての準備のための0学期であること。そして、卒業式後の全校集会では、4月から先輩になるうえで、3つの生活の基本（「時を守り」「場を清め」「礼を正す」）を身に付けてほしいことを話しました。新2, 3年生には、先輩として新入生に「中学生とはこういうものだ」「中学生になると、自分で考え、自分で判断し、自分で何でもしなければいけないんだ」という自立した姿を見せてほしいと思います。新入生は、良いことも、悪いことも含めて皆さんの姿を見ています。

4月からの新しい第二中学校が、全ての生徒が光り輝き、楽しく明るく活気のある学校になることを期待しています。学校の主役は、生徒一人一人です。よろしくお願いいたします。

【新たな学びについて】

4月から、新しい学習指導要領が全面実施となります。それに伴い、使う教科書が変わります。また、生徒一人1台のタブレットが使えるようになります。そして、全ての教科で「学習の評価」が変わります。

○新しい「学習の評価」

グローバル化やAI（人工知能）などの技術革新が急速に進み、予測が困難なこれからの時代。これからの未来を拓き、創り手となる子供たちに「何ができるようになるか」という観点から、育成すべき必要となる資質・能力を、「生きて働く『知識及び技能』」「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』」「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力、人間性等』」を3つに明確化するとともに、学習評価も次のように変わります。

今までの「知識・理解」「技能」「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」の4観点から、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力等」③「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で学習の評価をします。

新年度に入り、全校又は各教科のオリエンテーション等の場で、説明していきたいと思います。

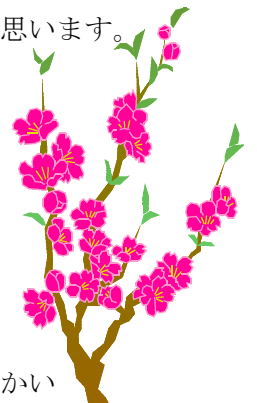
【教育活動の時間について】

新型コロナウイルス感染症対策として、毎朝、登校後の健康観察並びに検温等を行ってまいりました。次年度も継続することとし、確実な健康観察に努めることと、余裕をもった朝の時間、活動準備に余裕をもたせるため、以下のように朝の時間を変更します。

8時10分、教室で出席の確認を行います。

これにより、小学校と活動開始時刻がそろうこととなります。

最後に、地域・保護者の皆様におかれましては、今年度も第二中学校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



祝 第74回卒業証書授与式

別れの言葉

卒業生代表 捧 律人

今年の冬は何度も寒波に見舞われました。雪の量もここ数年では一番多く、寒さに背を丸め、雪道に足を取られながら登校した日が何日もありました。早く春が来ないかと待ちわびながら今日を迎えましたが、気がつけばグラウンドの雪も消え、玄関前の桜の枝のつぼみも赤く膨らんできていて、春が近いことを教えてくれています。

今日は、教育委員会、来賓の皆様、ならびに保護者の皆様にご臨席をいただき本当にありがとうございます。こうして多くの皆様に見守られて来たことを改めて痛感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

思い返せば3年前、入学式でこの場所に座りました。中学校生活への期待と不安を感じながら、担任の先生から名前を読み上げられるのを待っていたことを思い出します。この3年間はとても短い時間のように感じますが、その中には、数え切れないほどの思い出が詰まっています。その仲間と過ごした思い出は、私たちのこれからの生き方の基礎となり、いろいろな場面で支えとなってくれるかけがえのないものだと思います。

入学当初の中学校生活に対する戸惑いは、大きかったです。難しくなった勉強、学校生活の過ごし方、上級生との関係など、小学生の時との違いに緊張感を覚えました。「進学するとはこういうことなんだ」と入学して初めてわかりました。中学校生活1年目はとにかく大変でしたが、家族からの声かけや先輩からのアドバイスに何度も救われたことを覚えています。

2年生になる頃には、ようやく余裕も生まれ、一人一人が打ち込めるものを見つけることができました。目標に向かって一生懸命励んだ日々の中で、充実感を味わうことができました。次の最高学年に至る基礎になったと思います。

こうして、私たちは3年生になり、第二中学校で過ごす最後の年を迎えました。みんなが、最上級生として、第二中学校の先頭に立って、何事にも「思い切り取り組んでいこう」と思っていたはずですが、ところが、昨年度末から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、休校や諸活動の停止という思いもよらないことになってしまいました。

新年度がスタートしても、またすぐに休校となりました。部活動の大会やコンクールは軒並み中止、練習試合すら認められませんでした。一度延期になった修学旅行も、行き先や内容、時期を再検討しながら対応したのに、結局は中止となってしまいました。大会で自分たちの成果を試したかった。修学旅行も東京の企業や大学の見学等、準備した計画を実行したかった。何よりも仲間との思い出をつくりたかったです。体育祭も合唱コンクールも様々な制限がかかり、どうしていいのかわからなくなることも多かったです。正直な気持ちとしては、やり直せるならやり直したいです。悔しくてたまりませんでした。

しかし、気付かされることもたくさんありました。

休校が明けて学校再開となった日、教室に行くとそこには見慣れた仲間の顔がありました。気持ちが「ホッ」として、仲間の大切さがわかりました。大会があるかわからない状態でスタートした部活動も、2年生をリードし、新入生を迎え入れて今年の活動をスタートさせなければならないという、最上級生としての役割があることに気付きました。何気ない日常の中に、仲間や後輩、先生方、地域の方や家族との関わりがあり、その関わりの中で喜びも、怒りも、哀しみも、楽しみも生まれてくるのだと感じました。私たちが感じる事ができたリーダーとしての「自覚」や「責任」、第二中学校の卒業生であるという誇りも、ここにいる仲間と共に取り組んできたからこそ、作り上げて来られたと思います。

在校生にとっては頼りない先輩だったかもしれませんが、私たちは精一杯頑張ったつもりです。私たちの後ろについてきてくれて、ありがとうございました。皆さんには、今年度の修成会スローガンに掲げた「MOVE ON」の言葉を再び送ります。自分の気持ちをしっかりともち、前に進んで成長して行ってください。明日からの第二中学校をよろしく願います。

地域の皆様、これまで私たちを温かく支えていただき、ありがとうございました。大雪の日も除



雪作業を行っていただくなど、私たちの安全に配慮していただきました。スクールガードの方には、毎朝、横断歩道で登校を見守っていただいたおかげで、3年間事故なく登校することができました。心より感謝しています。

先生方、この3年間、楽しいことも辛いこともたくさんありましたが、いつも寄り添い、時に優しく、時に厳しく私たちをよりよい方向に導いてくださいました。ありがとうございます。

保護者の皆様、小学校入学から9年間、どれだけ嫌なことがあっても、どれだけ大きな壁にぶつかっても、意見の食い違いで反抗することがあっても、大きな愛情で温かく包んでいただきました。至らない私たちでしたが、夢と目標を与えてもらいました。こうして中学卒業後も安心して一步踏み出していけるのも家族の大きな愛情が私たちを支えてくれるからです。照れくさい言葉ですが、「ありがとう」と言わせてください。義務教育を終えた私たちは、いよいよ、一人一人が自分の人生という問題に取り組み、自分だけの解答用紙に答えを探して書き込んでいかなければなりません。時には難問に直面して、間違えてしまうことや挫けてしまうことがあるかもしれません。その時はもう少しだけ支えてください。私たちはもっともっと強くなり、いつか必ず恩返ししたいと思います。

いよいよ別れの時です。何気ない会話に笑い合ったり、意見の対立で辛い思いをしたり、仲間の訃報に涙したり…。たくさんの時を共にした仲間との別れは悲しいです。しかし、今、私たちの前には幾通りもの道が広がっています。「またね」と笑って手を振り、胸を張って歩き始めましょう。それが新しい人生の始まりの合図です。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする先生方、本当にお世話になりました。地域の皆様、学区の子どもとして大事に見守っていただきありがとうございます。多くの方々に支えられたことは忘れません。

これからの第二中学校のさらなる発展を祈念し、私たちの別れの言葉とさせていただきます。

送る言葉

冬の寒さが和らぎ始め、春の気配が感じられる頃となりました。卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうでございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

私たちにとって先輩方は、いつも憧れの存在でした。体育祭や部活動、委員会などの様々な場面で先輩方の存在の大きさを強く感じました。

夏の厳しい暑さの中始まった体育祭練習。練習期間が短い中でも、先輩方は丁寧に教えてくださいました。おかげで、当日はグラウンドいっぱいたくさんの笑顔があふれる最高の体育祭になりました。

部活動でも、先輩方から多くのことを学びました。目標に向かって努力し、精一杯練習に取り組む姿は輝いて見えました。

いつも優しく、時には厳しく指導して下さったこと、困っているときに優しく声をかけて下さったこと、今ではどれもかけがえのない大切な思い出です。

先輩方と過ごすのは今日が最後となります。楽しい思い出が多い分、お別れする寂しさも大きいです。しかし、私たちが先輩方の遺して下さった伝統をしっかりと受け継ぎ、さらに発展させていきたいと思えます。

本日より、先輩方はそれぞれの道を歩みだされます。新しい道を歩み出す先輩方を私たちは心より応援しています。時には厳しい道のりが待っているかもしれません。そんな時は、3年間共にした仲間や私たち後輩のことを思い出してください。そして、この第二中学校で過ごした日々をこれからの自信と勇気に変えていただけたら幸いです。



在校生代表 飯塚 昊



最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りして、送る言葉とさせていただきます。



絆スクール集会 無事終了

3月11日(木)の午後に、一ノ木戸小学校6年生を招いて「絆スクール集会 (中学校生活を語る会)」が行われました。1年生が、この1年間の学校生活を振り返りながら、「委員会」「部活動」「学校生活」「学習」などについてまとめ、それを6年生に向けて発表するという活動です。1年生は発表に向けてポスターや発表原稿を作成し、リハーサルも行いながら当日に向けて準備をしていました。写真は当日の発表の様子です。



「Smile with music」

吹奏楽部部長 渋谷 双花

今年度、私達吹奏楽部は演奏する機会が少ししかありませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響で、夏のコンクールや6月の定期演奏会の中止、アンサンブルコンテストも出場できない状況となりました。そんな中、市の音楽祭やフレッシュコンサート、校内で行われた3年生に向けての演奏など数少ない演奏の機会を部員一同全力で取り組んできました。その一つとして私達は今、定期演奏会に向けて練習しています。今回は例年とは違い第二中学校体育館での開催となり、また、1・2年生は初めての定期演奏会とあって戸惑うことも多々ありました。しかし、部員全員が「Smile with music」のコンセプトの基、ドラえものの衣装や、海賊の衣装など様々な工夫をして、来てくださるお客さんを笑顔にしようと、頑張っています。期日は3月27日土曜日、第二中学校体育館で13時開場、13時30分に開演です。中学生の方は内履きをお持ちください。また、当日は、新型コロナウイルス感染症予防のため、手指消毒、除菌と検温にご協力ください。様々な演出が入っている私達の第31回定期演奏会へぜひお越しください。



令和2年度修了式 各学年代表の「3学期の反省と来年度への抱負」から



「1年間のふり返りと来年度の目標」 1年2組 山本 ひより

私がこの1年間でがんばった事は2つあります。1つ目は定期テストです。私はテストの結果にとっても波があり、第3回定期テストでは点数を落としてしまいました。次はなんとかして点数を上げなければと思いつつながら第4回のテスト期間を迎えました。

私はテスト計画表に書いたことをもとにしながら毎日コツコツと学習を進めていきました。その結果、テストで約20点近く上げることができました。私は、テスト期間だけでなく日頃からの学習が大切だと思いました。

2つ目は挨拶です。1学期の頃は自分からすることができませんでした。たくさんの人に毎日、挨拶を返していくと、やがて自分からできるようになりました。そして、これからは、自分も相手も気持ちのよくなる挨拶ができるようになりたい

です。

そして、来年度の目標も2つあります。1つ目は自分の行動に責任を持つことです。自分が行っていることは正しい事なのかという事を考えながら行動できたらよいと思っています。また、4月からは新入生が入学してきて、私は先輩という立場になるので自分の行動に責任をもつということが重要になってくると思います。

そして2つ目は自分の体調管理です。2年生になると1年生の時よりもいそがしくなったり、やるべき事が増えたりすると思うので、自分の体調管理を大切にしていきたいと思っています。この1年間で学んだことを大切にしながら、下級生のお手本となれるように、2年になってもがんばっていきたくと思っています。



「2年生の反省と来年度の抱負」 2年2組 渡辺 拓哉

僕が2年生でがんばった事は2つあります。

1つ目は、定期テストです。2年生になってからの第3回までのテストでは、思ったような点数がとれませんでした。このままだとダメだと思い、第4回のテストに向けて、勉強の仕方を工夫しました。まずは、授業を普段よりしっかり聞くようにしました。こうすることで、学習の内容がしっかりと理解できて、その後の勉強がスムーズにできました。次に、ワークを理解するまでじっくりやりました。以前は丸つけをして、それで終わりでしたが、今回は、まず1回目をやって丸つけをし、間違った所はなぜその答えになるのかを教科書で調べ、それから2回目をしました。ただ答えを暗記するのはつらいですが、そうすることで、色々なことに関連づけることができ、効率的に内容を覚えることができました。この2つの工夫を行ったおかげで、

第4回の定期テストは思った以上の点数をとることができ、今までの最高点となりました。とてもうれしかったです。

2つ目は、自治風紀委員会の活動です。僕は1年生の後期に、自治委員会に所属していました。今年度、自治と風紀が合体し、活動内容が増えました。そのため、分からないことや困ったことがありましたが、他の委員の人たちと協力しながら活動を進めることができました。終わった時は、達成感があり、とてもうれしかったです。僕は、自治風紀委員会に入って、とても良かったと思いました。

僕は、最高学年を間近にして、抱負が2つあります。1つ目は受検勉強です。行きたい高校に合格するためにもっとたくさん勉強をして、もっと勉強の質を高めたいと思います。そのためにも、学校では授業をしっかりと聞いて、家では予習や復習に力を入れ、計画的に学習をしたいです。

2つ目は、悔いの残らない中学校生活を送ることです。あっという間に2年間に過ぎて、あと1年で中学校生活も終わりになります。卒業とともに別れてしまう友達もたくさんいると思います。なので、中学生のうちにはかできないことをしっかり行い、今いる友達と共に楽しい時間を過ごし、悔いの残らないように1日1日を大切に過ごしたいです。